



# PURE CHABLIS

One grape  
One region  
One of a kind  
Only from France

Press Release – 2024 年 12 月

## 2024 年：試練と共に歩んだ年

— 試練を乗り越え、シャブリらしい張りとう明確なミネラル感を湛えて —

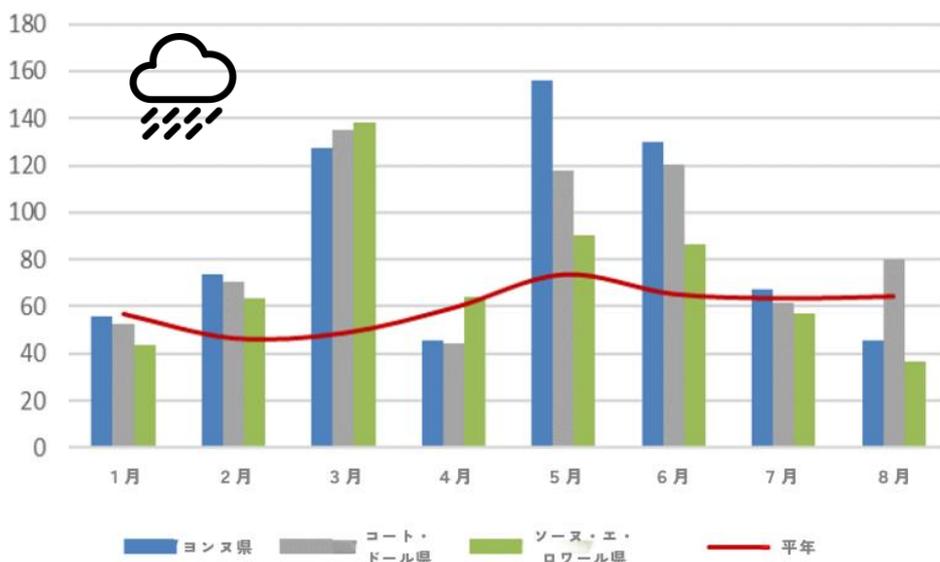
2024 年、フランスの他のワイン産地と同様、ブルゴーニュ/ Bourgogne も異例の天候に翻弄された。川の氾濫、過剰な降雨、霜、雹など、自然の猛威が作物に深刻な影響を与え、収穫可能量は徐々に減少していった。ぶどうの生育シーズンを通じて、生産者は畑に絶えず目を配り、収穫を守るために多大な努力を重ねる必要があった。シャブリ/Chablis では、例年のように酒庫が満杯となることはなかったが、醸造家たちは試飲したワインの出来に満足している。2024 年ヴィンテージは、張りのある味わいと明確なミネラル感を湛え、シャブリワインらしさを見事に体現している。

2023 年の乾燥した気候から一転し、2024 年は 8 月末時点で降水量が平年を約 50% も上回る過剰な雨に見舞われた。特に 3 月は記録的な雨量を観測し、月間平均の 150% 以上に達した。この大量な雨が川の氾濫を引き起こし、スラン川では 3 月と 4 月に氾濫が発生した。

一方、この 2 か月間の穏やかな気温はぶどうの生長を後押しし、ぶどう樹は目覚めるとともに急速に生長した。4 月初めには、その生長が例年より 8~10 日ほど早まっていた。しかし、この湿った環境下で春霜が発生し、一部の畑では深刻な被害を受けたが、産地全体への影響は限定的だった。

2024 年ブルゴーニュ月間平均降水量 (mm)

県別平年比



その後、水分は霰となり、何度も畑を襲った。特にシャブリでは、5月1日に最も激しい雷雨に見舞われ、産地全体 5,870ha のうち 2,000ha が部分的または全体的に被害を受けた。収穫までにはまだ長い道のりが残っている5月の段階で、この影響は深刻だった。

開花期の天候もまた厳しく、受粉が十分に行われなかったことで花ぶるいや結実不良が発生し、収穫可能量はさらに減少した。加えて、雨は止むことなく降り続き、3月に続いて5月と6月も記録的な降水量を記録した。

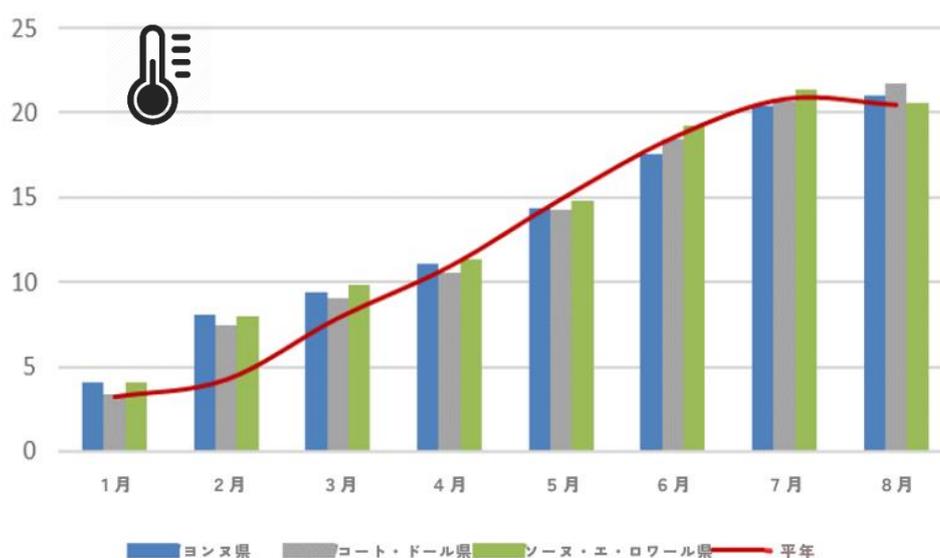


この変わりやすい天候の中、ぶどう栽培者たちは、畑の手入れや病害の予防、草の生長管理に細心の注意を払い、迅速な対応を迫られる日々が続いた。

特に春から続く高湿度はベト病の発生を助長し、そのリスクはシーズンを通して高い状態が続いた。この影響で、収穫量は徐々に減少していった。

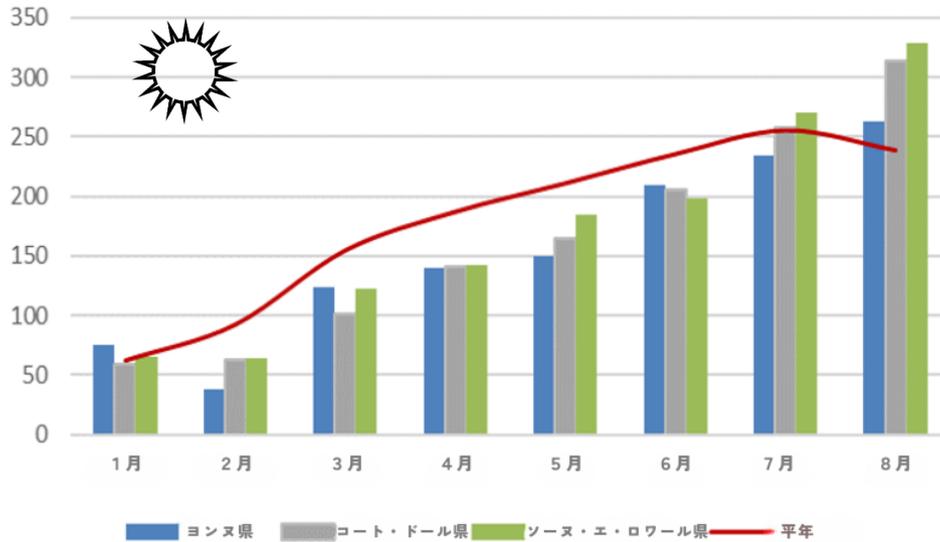
一方で、8月に入ると比較的乾燥した日が続き、日照量も増加した。その結果、畑の衛生状態が改善され、ぶどうの成熟に適した条件が整った。夏の初めには生育が例年より遅れていたが、最終的には成熟に向けた良好な環境が整った。

2024年ブルゴーニュ月間平均気温(°C)  
県別平年比



しかし、9月の天候は不安定であった。ぶどうの衛生状態を維持しながら、最適な収穫タイミングを見極めることは難しく、収穫日の決定は苦勞を伴った。収穫は9月23日に始まり、選果台も設置されたが、一部の区画では収穫できるぶどうがほとんどなく、作業が短時間で終了することもあった。

2024年ブルゴーニュ月間平均日照時間（時）  
県別平年比



最終的に、状況には大きなばらつきが生じ、同じ村内でも著しい違いが見られる場合があった。南東部の産地は比較的被害が少なかった。一部の生産者では収穫量が10hL/ha以下にとどまり、多くの生産者は例年の半分程度の収穫量にとどまったが、カーヴが満杯となる生産者も少数ながら存在した。

ワインの特徴も収穫量に応じて大きく異なっている。しかし、全体的な傾向として、柑橘類や新鮮でシャキッとした白い果実のニュアンスが際立ち、爽やかな味わいが特徴である。2024年ヴィンテージは、シャブリワインらしい張りや明確なミネラル感を湛えている。